

この度はJTC工具を御買上頂きまして、誠に有難うございます。  
本製品をより安全・適切にお使いいただくために この取扱い説明書をお読みください。  
取扱い説明及び表示の注意事項や使用方法は十分に理解した上で正しくお使い下さい。  
この取扱説明書はお手元に大切に保管ください。

### ● はじめに

ご使用になる前に、必ずこの取扱説明書を読み、注意事項、使用方法を十分にご理解頂いた上で正しくご使用下さい。又、本製品は間違った使い方をされると、人的障害や物的障害が生じる他重大な事故に発展する恐れがあります。



### 警告

- ・本製品は自動車整備士資格を有する方がご使用下さい。自動車整備士資格をお持ちでない方は使用しないで下さい。
- ・修理技術者以外の方は本製品の分解、修理、改造を行わないで下さい。
- ・作業方法は整備書等を確認しよく理解して下さい。作業方法が不明な場合は使用しないで下さい。
- ・本製品はブレーキフルードの交換作業に使用します。本来の用途以外では使用しないで下さい。
- ・ハイブリッド車はエア抜き作業に特別な手順が必要になる場合があります
- ・誤った使用方法により生じた、商品破損、人体または物品への損害、その他いかなる損害に関しても当社では一切の保証、並びに責務を負いかねますのでご了承ください。
- ・使用前に各部に異常がないかよく点検して下さい。点検を怠ると本体の損傷、破損、ケガをする恐れや事故の原因になります。
- ・本製品に異常を感じた場合は、速やかに使用を中止し、お買い求めの販売店、または当社までお問い合わせ下さい。
- ・本製品を安全に使用する為、使用環境に合わせて、安全手袋、耳栓、安全帽、作業着等の保護具を着用して下さい。



### 注意

- ・必ずエアーコンプレッサーから供給される圧縮空気を使用して下さい。高圧ガス、プロパンガスは本製品が爆発する恐れがありますので、絶対に使用しないで下さい。
- ・使用空気圧0.8 MPa以下で使用して下さい。使用空気圧を超えて使用すると破損の原因になります。
- ・エアーコンプレッサーに水が溜まった状態で使用しないで下さい。水抜きをして清潔で乾燥した圧縮空気を使用して下さい。
- ・エアーホースに損傷、異常が見られる場合は使用しないで下さい。
- ・リザーバータンクよりブレーキフルードが漏れないように十分注意してください。ブレーキフルードは塗装面を傷めます。
- ・使用中にタンクを傾けたり、揺らしたりしないでください。ブレーキフルードがあふれたり吹く出します。
- ・ブレーキフルードがタンク八分目を超えて使用すると排気口よりブレーキフルードが吹き出します。タンク八分目を越える前に廃油処理をして下さい。

## ● 使用方法

作業工程に関しては、整備書などを確認し、よく理解してください。  
作業工程が不明な場合は、作業しないでください。

1. リザーバータンクに別売の JTC1026、JTC4810X 等を使用してブレーキフルードを注入します。【写真 1】
2. 車両のブリーダープラグにホース差込口を取り付けます。

### 【写真 2】

エアーコンプレッサーからのエアーを本体のカプラーに接続します。使用空気圧を 0.8 MPa 以下で御使用ください。

3. ブリーダープラグをレンチで緩めます。
4. レバーを握ると作動し、放すと止まります。  
レバーを握ったままフックを掛ける事により常に握った状態にする事が出来ます。

5. 作業終了後、ブリーダープラグをレンチで締めてエアーホースを外して下さい。

### ■ホース内に気泡が入る場合

負圧式の為、ブリーダープラグのネジ部の隙間よりエアーを吸い、ホース内に気泡が入ります。ブリーダープラグのネジ部の隙間にシリコングリス等を塗ると気泡を少なくする事が出来ます。(作業終了後、グリスはきれいに拭き取して下さい。)【写真 3】

### ■吸い上げる量が少ない場合

ブリーダープラグが詰まっている、ブレーキ配管が長い、フロント側、リア側によっても吸い上げる量に差が生じる場合があります。

- 作業終了後は、必ずブレーキペダルを数回踏み込み、ブレーキの掛かり具合を確認して下さい。確認せずに走行すると重大な事故につながります。

## ● 点検、メンテナンス、保管

- (1) ホース、ホース差込部の劣化、破損等点検
- (2) 排気口の破損等の点検
- (3) タンクの凹み、割れ等の点検
- (4) パッキン類の劣化、破損等の点検
- (5) タンク内にブレーキフルードを入れたまま保管しないで下さい。

- ・安全に使用する為、上記の点検作業を使用前や定期的に、必ず実施して下さい。
- ・異常が確認された場合は、本製品の使用を中止し、お買い求めの販売店までお問い合わせください。  
直射日光の当たらない常温の場所で、水が掛からない湿気も無くホコリの掛からない場所で保管して下さい。

【写真 1】



【写真 2】



【写真 3】



【写真 4】

